



松庵防災ニュース

第8号 2025年2月発行
松庵町会防災会

～災害時には「在宅避難」～

地震発生時は、従来の身の安全確保と火の始末後の「避難所への避難」から、自宅の安全が確保され居住の継続が可能な場合は「在宅での避難」へという形に変化しつつあります。

少しでも快適な在宅避難ができるように日ごろからの備え(自助)は大切です。

そなエリア東京

そなエリア東京は防災体験学習ツアー「東京直下72hTOUR」を中心とした防災体験学習施設です。

被災地や避難所の様子を再現した実物大のパノラマ展示、首都直下地震特設コーナーや映像ホール、津波体験コーナーなどもあります。

体験を通して地震について考えてみてはいかがでしょうか？

<4月15日(火)の町会バス旅行で訪問予定です>

バス旅行の詳細は3月上旬に町内会の回覧でお知らせ致します
皆様のご参加をお待ちしております



そなエリア東京



冬期の備え

現在発災時には自助が基本とされています。

日頃から備えを心がけることは大切ですが冬期発災時にあると安心できる物もあります。

特に高齢者や持病がある方は寒さ対策を見直してみてはいかがでしょうか？

例：コンパクトダウン、厚手ソックス、防寒用アルミシート、使い捨てカイロ、ネックウォーマー、ピクニックやスポーツ観戦に使う折り畳み式の座布団などは寒さだけでなく、湿気や水からも体を守ってくれます。100円ショップなどで買える物も有ります。



街頭消火器

冬期の乾燥に伴い、杉並区内でも火事が増えています。

もしもの時に役立つのは街頭消火器です。初期消火のためにどなたでも使用できます。

裏面の街頭消火器マップで自宅近くの街頭消火器の場所を確認してみましょう。

又、街頭消火器を使用した時には区役所防災課までご連絡下さい。



発行責任者 松庵町会防災会会长 奥田義郎